

大ケヤキ

学校だより「第34号」
平成29年1月11日発行
高田中学校長 野内 昭

第3学期が

スタート!!

～265名で始業式実施!～

新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いたします。

今年の冬も、今のところは降雪はさほどなく、穏やかな年末年始を送られたことと思えます。

さて、12月23日(金)からの18日間の冬休みも無事終了し、昨日(10日)から第3学期がスタートしました。この休み中は、大きな事故やケガ、「自分をダメにする行為」もなく、全責元気な顔で3学期を迎えることができました。これも、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力のおかげであり、感謝いたします。

10日(火)は、8名が欠席で3名が遅参(1名は途中から式に参加)で、265名で始業式を行いました。

さて、3学期は52日間(3年生は45日間)と一番短い学期ですが、この間に各学年のまとめと進級、そして3年生の皆さんにとっては、人生の第一関門を自分の力で乗り越えるための力をさらに蓄え、進学へ

の諸準備をしなければならない大切な学期でもあります。
始業式では、この大切な学期であることと、次のような話をしました。

(1) いよいよ3年生にとって、高校受験がスタート。先週は(若松一高改め)会津北嶺高推薦入試と合格発表、ザベリ才高校の推薦入試があった。今日はその合格発表と北嶺高の1期出願。県立の1期選抜まで1ヶ月、2期選抜まで2ヶ月を切った。残りの期間、必死になって取り組み、自分の目標を達成してほしい。

(2) 2年生にとっては1年2ヶ月後、1年生にとっては2年2ヶ月後。まだ先のことと思っているかもしれないが、あつという間に来ってしまう。少しずつ真剣に、自分の進路をしっかりと考えてほしい。

(3) そのためにも、今年目標や3学期のめあてをしっかりと立ててほしい。まだ立てていない人は早く立て、それをいつも意識して生活してほしい。意識して生活するのとはしないのでは、短い3学期でも大きな差になる。

(4) 3学期、そして平成29年(2017年)、新たな気持ちで諸活動に取り組み、干支である酉のように大いに羽ばたいてくれることを期待したい。

その後、各学年の代表である、

- ・ 1年生：佐土原 桜さん(1組)
- ・ 2年生：大橋 叶くん(4組)
- ・ 3年生：山下 諒くん(1組)

の3人が「冬休みの反省と3学期の抱負」「残りの中学校生活について」などと題して「わたしの意見発表」を行い、無事始業式を終えることができました。

なお、3人の発表内容は、各学年だよりに掲載されると思いますのでご覧ください。

3学期、毎週水曜日

「ノー部活動デー」に!

～計画的な生活を!～

3学期より、毎週水曜日を「ノー部活動デー」として取り組んでいくことにしました。その趣旨としては、

○ 生徒の休養時間を確保し、余暇の過ごし方や自己の進路実現について考え、計画的に家庭学習等に取り組むことを通して主体性や自主性を高める。

○ 短いこの学期は3年生の進路業務や来年度の教育計画の作成など重要な業務が続くため、その確実な実施のための時間を確保する。

です。

なおこの取組は3学期限定で、午後4時30分完全下校となります。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

学校保健会年間テーマ

『子どもメディア』(4)

～いじめUSNS～

前号では、最近の「いじめっ子」は「ドラえもん」に登場する「しずかちゃん」タイプの場合が多い理由と、陰湿ないじめの例などをご紹介し、万が一そのような状況になった場合はすぐに連絡してほしい旨をお願いしました。

今回は、「3. スマホの問題は心の問題」について一緒に考えてみたいと思います。

(恐らく) 40歳代以上の大人にとって、LINEとかTwitterとかの言葉を聞くと、「スマホはわからないから」と逃げてしまうのではないだろうか(当然堪能な方もいらっしゃいますが)。しかし、子ども達が求めているのはスマホの知識ではなく、昔ながらのアナログなトラブル解決方法です。実は、スマホの知識がほとんどなくても十分に対応できるということなのです。それは、スマホはきっかけであって、中心問題ではないからです。

スマホと聞くとデジタルで難しいように感じますが、実はスマホの問題は「心の問題」なのだそうなのです。昔の子ども達が抱えていた問題とほとんど変わらなく、ただ、きっかけと様態が少しだけ変化しただけだということです。(おわり)